

クラブ通信 Vol. 179

2023年4月



ご意見・ご要望をお寄せ下さい。

<https://osaka.seikatsuclub.coop/>

TEL. 072-641-5547



2月度実績報告(1/21~2/20)	
◎組合員数	19,800人(2/20現在)
加入	109人
脱退	157人
◎供給高	308,710千円(計画比 100.7%)
	(前年比 98.1%)
一人当たり利用高	15,566円(前年比 96.1%)

発行/生活クラブ生協大阪理事会 編集/広報委員会 茨木市清水1丁目21番4号

どうする!? 酪農家の危機

パステライズド牛乳を飲み続けたい ヨーグルトもアイスクリームもチーズも… 国産が食べたい!

日本の酪農家が今、これまでに経験したことのない大変な経営危機に直面しています。私たちの提携している酪農家も状況は同じです。

このままでは牛乳が飲めなくなるかもしれない。この苦境を乗り越え、牛乳の持続可能な生産を支えていくために、私たちの利用が必要です。



○過去最大の危機

- ① 気候危機や国際情勢の影響によって飼料価格、燃料費などが世界的に高騰し、生乳の生産コストが上がっている。コストの4割前後を占める飼料代は、2年前の5割増で酪農家への大きな打撃となっている。
- ② コロナ禍の影響で牛乳の需要が激減。余った生乳は脱脂粉乳やバターなどに加工するが、需要の少ない脱脂粉乳の在庫が過去最多となり、酪農家の収入減少につながった。
- ③ 酪農家の多くは、乳牛から生まれた雄の子牛を肉牛用に販売して経営を維持してきたが、飼料の高騰で肉牛の買い控えが増え、子牛の価格も暴落している。「多くの酪農家が、今までの蓄えを切り崩しながら生産を続けているという苦しい状況です」。(南信酪農業協同組合代表理事組合長 三村誠一さん)

○生産者と共に作ってきた 「私たちに必要な牛乳」

パステライズド牛乳は、酪農家と提携し、自前の牛乳工場を建設、超高温殺菌から高温短時間殺菌(72°C 15秒間)への変更、NON-GM 飼料への対応、容器のびん化など、生産者と一緒で作ってきました。今後も牛乳の生産を続けるためには、私たち組合員の利用が必要です。

私たちの行動 牛乳を利用しよう!

免疫力を向上させる
ラクトフェリンが含まれるのは、
パステライズド殺菌だからこそ。
ぜひ **よやくる** で利用しましょう!



まだ利用したことのない方は「まず1本」飲んでみてください。また飲むだけでなく料理やお菓子でのおいしい使い方も共有し「プラス1本」。

学習会などの企画やニュース、クラブ通信で利用を呼びかけていきます。

《牛乳応援基金》

生活クラブは牛乳応援基金を設立しました。牛乳の価格に2円を上乗せし、酪農家の生産対策などに活用します。詳しくは「食べるカタログ」などを確認ください。



◆ 今月の紙面	●「産直南島原」生産者交流会報告 …………… 2	●「でんきを変える、でんきで変わる」生活クラブでんきを選んで使おう …………… 6 7
	●「地区の活動」みそ作り …………… 3	
	●一緒に活動しよう 自己診断チャート「わたしには何がぴったり?」 …………… 4 5	●エコロ共済 ブックエンド「生活と自治」理事会報告 つぶやき フェスタ …………… 8

活動の報告

今年もみんなで
作りました！

みそ作り

1/30・2/7 千里ブロック 山岡地区
参加:17人 女の子谷コミュニティセンター 夢つながり未来館

作り方も出来上がりも人それぞれ、 手前みそ作ろう！

毎年常連の参加が多い中、今回は子育て世代の新規組合員の申し込みがありました！しかし、当日都合が悪くなり欠席。(残念…)

当日は、事前に自宅で煮た大豆、塩、麴(米か麦)、大豆の煮汁を持って会場に集合。ミンサーを使って大豆をすり潰し、塩・麴・煮汁を加えよく混ぜます。肝心の大豆ですが、その煮方は、一度に大鍋派、数回に分ける派、圧力鍋派、保温調理派と様々。同様に保存容器もオシャレなものから伝統的なものまで様々です。



友だち同士で楽しく！

ベテランも初心者も互いに協力しながら楽しく作業をするので、初めての方でも安心です。未経験の方もぜひ来年参加お待ちしておりますよ！(三上千夏)

52地区、62か所でみそ作りが開催され、多くの組合員やゲストが参加しました。日本の伝統食であるみその伝承や、国産大豆の使用を通して食料の自給率について考えることなどを目的に毎年開催。参加者同士の交流が次の活動につながったり、食育の場となったり…。みそ作りは素敵なことばかりです。もちろん手作りみそは無添加でおいしくて、家族にも安心ですね。あなたもみそ作りの仲間になりませんか？



出来あがり～陶器の瓶、ホーロー、プラスチック、いろいろな容器で作れます。



2/11 香里ブロック 成田三井ヶ丘地区
参加:7人 カトリック香里教会

みそ作りは食育だ！

成田三井ヶ丘地区は、今年度新しく地区委員が交代してから初めてのみそ作りでした。みそ作り歴何十年という方から、実は初めてという方…何を隠そう、地区委員自身もみそ作り初心者だったため、参加者と一緒に参加したブロック理事からたくさん学びました。

子どもの参加も多く、ミンサーに入れた大豆がにゅるっと出てくるのに驚いたり、みそを混ぜる感触を楽しんだり、最後は子どもたちも片づけを手伝ったりしながら、にぎやかな時間を過ごしました。小学生の一人が「家庭科で、みそは何から作られるのでしょうか？って聞かれてもバッチリ答えられるね」と。みそ作りが貴重な食育の場になっていることを実感しました。(島内ゆりな)



子どもたちにとって素晴らしい体験になりました。



いろいろな世代の参加があります。



若い後継者が活躍！ 「はやくる」でつながろう

消費材委員会主催：産直南島原生産者交流会
大阪市中央公会堂 参加:25人

(株)産直南島原(長崎県)の生産者が6人で来阪、うち4人は20代です。緊張した面持ちながらも未来への展望をしっかりと語っていました。



代表:林田康一さん

産直南島原からは、じゃがいも、玉ねぎ、やさいBOXのレタスが届いています。生活クラブの栽培基準に則り、栽培期間中は化学肥料と化学合成農薬を使用していません。その栽培方法について説明を受けました。

じゃがいも、玉ねぎ、レタスは除草のためマルチ(シート)を畑に張って種芋や苗を植え付けします。1つずつ穴をあけて植え付けるそうですが、話を聞いているだけでも重労働だと感じました。



事務局:伊藤愁平さん

野菜を生産するにあたって一番大事なものは、基礎である畑の土作りです。生産者はそれぞれ堆肥小屋を持っていて、自家製堆肥や牡蠣殻石灰を投入することで、化学肥料に頼らないミネラル分たっぷりの土が出来るそうです。堆肥を用いて丁寧に土作りをしているので、同じ畑でずっと作っていても特に連作障害はないとのことでした。



↑手でマルチに穴を開け、レタスの苗を定植していきます。除草剤を一切使用しないので草取りも全て手作業です。



山田 隼さん



レタス生産者の井上さん。愛情をかけて育てたレタスを一つひとつ包丁で収穫。変色を防ぐため、出荷前には切り口の白い汁を洗っています。



竹下魁渡さん



じゃがいも・玉ねぎ生産者の竹下さんと堆肥小屋。生産者は研究熱心で、常に土づくりのことを考えています。

気候に左右される、決まった休みが取れない、子どもが休みの日に休めないなど悩みはありますが、同世代の仲間と飲みに行ったり遊んだりできることで、励まし合って農業に取り組んでいることがうかがえました。「今回の交流会では組合員の質問に答えられないこともあったので、これからも学び頑張っていきたい」という言葉に嬉しく、頼もしく感じました。

この若い生産者たちが、これからも作り続けていくためには、私たちが食べ続けるという約束が必要です。はやくるで利用するということは、食べることを約束することになります。欲しい時に欲しいだけ注文する方法では生産者は数が読めません。食べる約束があることで生産者は、私たちが望む、安心できるおいしい野菜を手間をかけて作り続ける意欲もわきます。

私たちに出会い、「食べる人たちに会えてうれしかった」「おいしいものを作っていきたい。成長していきたい」と嬉しいコメントをもらいました。そんな生産者の作ったおいしい野菜をみんなで食べていきたいと強く思いました。

(常任理事 小野田郁子)



林田斗真さん

農業を始めたきっかけは「父がかっこいいなと思って」



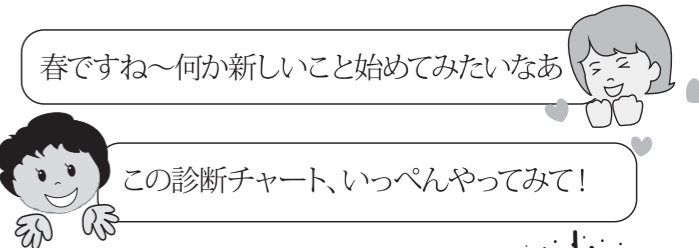
松尾隆史さん

実は野菜が苦手な人も…「じゃがちゃん」という地元のおやつ(アメリカンドックのジャガイモ片:茹でたじゃがいもをホットケーキミックスの衣で揚げる)がおいしいです。そのままじゃがいものサラダや、玉ねぎのサラダなど調理をあまりせず素材そのもののおいしさや、甘さを感じて食べるのがおすすめ!

あなたは何にたどり着きましたか？
一緒に活動する仲間は随時募集しています。
興味のある方はこちらまで
【組織運営課】072-641-5547

一緒に活動しよう
チャート式
「わたしには何がぴったり？」

組合員の活動 自己診断チャート



5 エッコロ委員会
人と人のつながりを大切に、安心して暮らせる地域づくりをめざして、4つの部会と共に活動しています。また経済面の保障やたすけあいの共同購入である「共済」のよさを広める活動もしています。去年は健康寿命を延ばすヒントやフレイル予防についての学習会を開催しました。

子育て中の親子の力になりたい。子どもが好き。そんなあなたは...



子育てひろばサポーター部会
地域の親子はもちろん子どもから大人まで誰でも安心して過ごせる場をめざし、3か所のひろばを毎月開催しています。新しいひろば開設に向け準備中。

託児リーダー部会
小さいお子さんがいる組合員の活動をサポートします。去年は外部講師を招き、乳幼児期から児童期までの子育てについて講演会を開催しました。

子どもに自然の中でたっぷり遊び、いろいろ学んでほしい。自主性を育てたい。

がっこう部会
「子どもが育つ 子どもと育つ 子どもを育てる」を合言葉に「里山のがっこう」を運営しています。京都・南山城村にある童仙房や伊賀有機農産供給センターで作物を育てる、自然の中で遊ぶなど自主性を大切に活動しています。

地域の誰もが集えて、安心して過ごせる場所があったらいいな、自分の特技が生かせないか、と思うあなたは...

香里ブロック居場所づくり部会
少しずつ地域に溶け込み利用者が増えてきました。週2日の開所日以外にも年2回のバザーの他、毎月イベントを開催するなどスタッフとボランティアが活発に活動しています。

6 広報委員会
私たちの暮らしをよりよくするには、どう行動すればいいのか？ 組合員が考えるヒントになる情報や、組合員活動について機関紙「クラブ通信」で毎月発信しています。文章を書くこと・SNSで発信することが好き、Wordやイラストレーターで紙面作成するなど得意なことを生かすことができます。

1 お住いの地区やブロックの企画に行ってみましょう。 様々なテーマで楽しい企画を開催しています。新しい出会いがあるかもしれないよ。

2 地区企画や委員会が主催する学習会に参加してみよう。 オンライン生産者交流会も開催していますよ。生産者の話を聞くと消費材のことがとてもよくわかります。

3 生活クラブ生協フェスタや産直春のつどいに参加して生産者と話してください。 多くの消費材の生産者が全国から集まっています。今年のフェスタは9/24(日)です。いろいろな活動の紹介もしているのであなたにぴったりの活動に出会えますよ〜。

4 海洋汚染、特にマイクロプラスチックの影響が気になるあなたは...

気候危機が心配。脱炭素社会の実現を目指したいあなたは...

近頃よく耳にする、ゲノム編集食品について知りたいあなたは...

地区委員
身近な地域でいろんなことを学び、仲間と集い楽しく活動しませんか。

消費材委員会
もっと消費材のことを詳しく知ることができます。生産者とも産地で交流する機会があります。



環境委員会
家庭内の有害物質を減らすために石けんの利用、ナチュラルクリーニング、BMW生物活性水を、またプラスチック容器を減らすためにびんのリユースをすすめています。去年は外部講師を招き、マイクロプラスチック問題についての学習会を開催しました。

自然エネルギー委員会
原発に頼らない安心な未来を子どもたちに残すため、再生可能エネルギー中心の「生活クラブでんき」にスイッチングするエコ仲間を広げる活動をしています。効果的な省エネ、CO2を出さない暮らしを提案します。去年は脱炭素への取り組みについて学ぶ学習会も開催しました。

NON-GM委員会
遺伝子組み換え作物・食品の問題点について学び、組合員向けに学習会を開いています。ゲノム編集食品についても危機感を持ち、去年は生活クラブ連合会講師による学習会を開催しました。

新しいお友だちが欲しい、または、何か活動の場が欲しいと思いますか？

いいえ はい

START
スタート

- いろいろなことに興味があり学んでみたいが、あまり遠くまで出かけるのは難しい → ①へ
- 家族に安全なものを食べさせたい。食の安全に興味があり、学びたい → ②へ
- 各地の生産者と交流したい。生産者のことを知りたい → ③へ
- 地球環境に危機感を持っている。子どもたちの未来を守りたい → ④へ
- 地域で安心して暮らしていきたい。人とのつながりを大切にしたい → ⑤へ
- いろいろなことに興味があり、学んだことを組合員に向けて発信したい → ⑥へ

楽しい企画に参加してみませんか？

はい いいえ

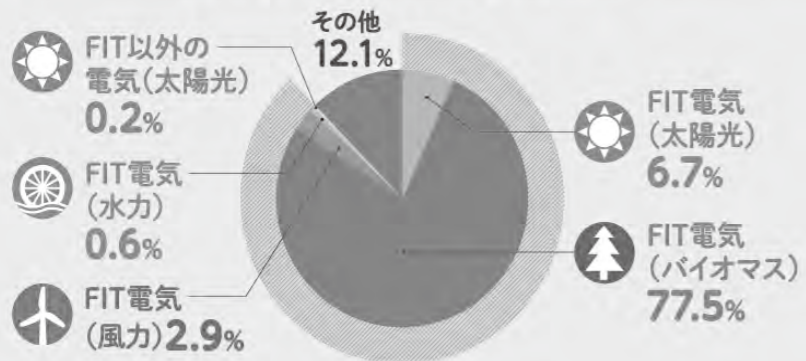
どんなテーマに興味がありますか？

- 食べ物** 消費材委員会や地区の企画に行ってみては？ 試食も再開しました。お気に入りの消費材を見つけてくださいね。
- 環境** エネルギー問題を考えるなら「エネカフェ」がおすすめ。毎月チラシが入ります。
- 福祉** 子育てに役立つ学習会やライフプラン講座も開催しています。

消費材を利用することで、あなたもサステイナブルな生産と消費に参加しています。クラブ通信やニュースで情報をゲットしてくださいね！

生活クラブでんきを選んでつかおう

生活クラブでんきの調達電源比率(2021年度)



このグラフは生活クラブ連合会WEBサイトに掲載されているものです。

- *1) 上記数値は、生活クラブ事業所および関連施設(高圧)と生活クラブ組合員(低圧)への供給実績に基づき算出されています。最新の調達電源比率は(株)生活クラブエナジーの公式サイトで確認できます。
- *2) (株)生活クラブエナジーがこの電気を調達する費用の一部は、(株)生活クラブエナジー以外の利用者を含め、電気の利用者が負担する再生可能エネルギーに関する賦課金によって賄われており、この電気のCO₂排出量については、火力発電なども含めた全国平均のCO₂排出量を持った電気として扱われます。
- *3) 旧一般電気事業者からインバランス(補給)供給を受けた電気と他社から調達している電気の一部で、発電所が特定できないものについては「その他」の取扱いとなっており、「その他」に入る電気には、火力、水力、原子力、FIT電気、再生可能エネルギーなどが含まれます。

***生活クラブでは電気も共同購入しています!**

省エネしながら、みんなで再生可能エネルギーをつくり使おう! と、再生可能エネルギー100%の電気を日々めざし、21年度は87.9%が再生可能エネルギーになりました!

*原発のない社会へ

1986年チェルノブイリ原発事故の後、生活クラブの自主基準を超える放射能が検出された7.6トンものお茶を廃棄した経験を、もう二度と繰り返したくない、と私たちは活動してきました。日本初となる生協の風力発電など各地で再生可能エネルギーをつくり、関西でも事業所や岸和田物流センターで太陽光発電しています。その他、バイオマス、小水力など脱原発へと志を同じくする電力会社、生産者、市民発電の自然環境に留意した電気を発電し、約一万八千件の組合員、生産者、生活クラブ事業所などに供給しています。



「でんきを変える、でんきで変わる」

～みんなで作る、つかう、つなぐ 原発に頼らない電気～



野辺山ソーラーシェアリング(長野県)が完成

*「ご当地電力」で福島復興を応援!

東京電力福島第一原発事故で失った産業や誇りを再生で取り戻そうと立ち上がった電力会社を、昨年12月に視察。2017年に全村避難が解除された飯館村には未だ多くの住民は戻っていませんが、営みが戻りつつありました。新しい公共施設を建てたから復興、とは言えません。心の復興のためには、脱原発への思いを共に活動すること、継続的な支援が必要だと思えました。飯館電力、会津電力は地域に貢献する「ご当地電力価値認証」を受けており、その価値を上乗せした金額が生活クラブエナジーから支払われています。私たちの支払った電気料金は地域産業やコミュニティの復活を支える力になっています!



福島県の飯館電力モニターツアーに参加

*生活クラブならではの「特徴」

- 剰余が出たらみんなで分ける、利用者還元割戻がある!
- 調達電源比率を毎月開示!
- 組合員の声で「時間帯別プラン」「再生100%プラン」ができた!
- 任意で「自然エネルギー基金」に参加でき、電源開発を応援できる!

*組合員の声



ベテラン組合員 のぶさん
「原発に對しずっと何かしたいと思っていたが電気を交えることで一歩踏み出した!」
「それを聞いて切り替えようと思えました!」
共感が広がり仲間が増えました。

地区企画では...
「ずっと気になってました。WEBで契約できるんですね!」
「そうなんです、手続きはすごく簡単で「これだけでいいの?」とよ耳にします。」

*新しいロゴができました!



生活クラブでんき

昨年9月から始まった生活クラブでんきのブランドアイディングプロジェクトに大阪から参加しました。「生活クラブでんき」の価値を明確化するワークショップでは、一番の魅力は何かを出し合い、私は「自分たちで作っている」「思いを同じくする生産者が作った電気」、他には「生産地域とつながる」「顔が見える」などの意見が出ました。そしてできたのが「みんなで作る、つかう、つなぐ」

というブランドステイトメントです。顔のロゴは、その先につながるコンセントでもあり、暮らしを照らすランプシェードでもあります。消費材の上った食卓の風景が浮かびました。電気は目に見えませんが「幸せな電気をイメージしています。四角なのは生真面目さも表しているとか!」
そして生活クラブでんきの志を伝える文章の始まりは「原発に頼りません」という言い切り。ここはメンバーが大きく賛成したところ。コンセントの先の生産者、環境、未来を考えて、よりよい社会をみんなでつくれる「生活クラブでんき」を選んでつかおう!

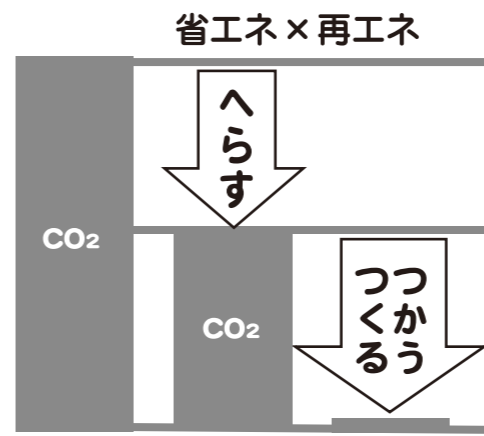
(*) 企業のブランドが掲げる理念や使命を簡潔な文として表したものを。

*脱炭素は人類の課題

消費材の生産者からは、気候危機による生産への影響の話を聞いています。(左枠内参照)

また、大型台風による河川氾濫、土砂崩れなど今までになかった被害が起きており、毎年心配です。温暖化の原因CO₂を日本で一番出しているのが火力発電所。電気を再生にするだけで、家庭からのCO₂排出を大きく減らすことができます。省エネ×再生の相乗効果なしに脱炭素はすすみません。

- 海苔** : 秋が長く春が早く来て海苔を生産する冬が短くなった。練り物 : ここ2年ほどオキアミが獲れなくなった。
- バナナ** : 台風が大型化。乾季に雨が降り、雨季に降らない。
- 果樹** : 大型台風、局地的豪雨、夏の高温、春の低温など。



※「省エネ×再生可能エネルギー」でCO₂排出を減らすことができます。



「生活クラブエナジー」WEBサイト
風車「夢風」の動画

【問い合わせ】
組織運営課 072 (641) 5547



3月

会員数	10,886人			
給付状況	消費材の破損	1件	健康診断補助	9件
	地区	5件/5人	活動に伴う車の使用に対する保障	19件
	託児	全体	暮らしのたすけあい	39件/14人
	サークル	0件/0人	日常的なたすけあい暮らしのサポート	59時間/13人

エコロ事務局 ☎/FAX 072-641-5811
月・水・金(10~15時)

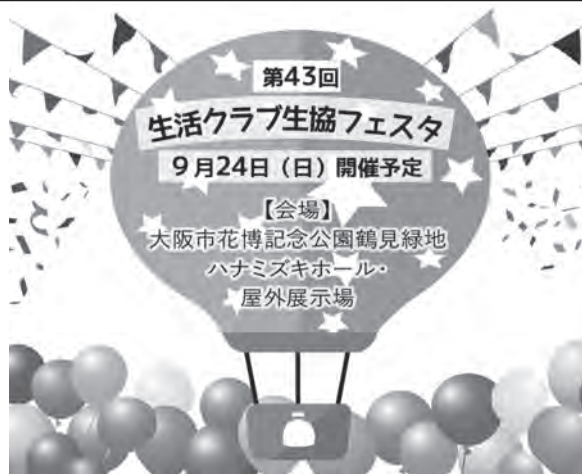


エコロ共済の助成金

エコロ共済の掛け金は、組合員の活動保障やケア金の給付以外に、様々な地域福祉の活動に活用されています。生活クラブ生協大阪の福祉政策に沿って必要な活動について予算化し、以下の通り助成しています。

- ・子育て支援に伴う学習会、サポーターの養成・研修費用
- ・エコロサークルの運営費
- ・子育てひろば「ひらひら」「クレードル」「ぼらん*ぼらん」の運営費、新規ひろば立ち上げ費用
- ※東大阪のひろば「とことこ」5月開所予定
- ・「生活と自治」リーディングサービスの運営費
- ・エコロ講座(講師料など)
- ・居場所「よりみち」の運営費(家賃、水道光熱費)
- ・連携する4つの福祉団体の活動

エコロ共済に加入しているだけで、あなたも地域福祉に貢献することができます。自身のため、暮らしやすい地域づくりのために、エコロ共済へぜひ加入してください。活動に関心がある方はエコロ事務局までお問い合わせください。



BOOK ブックエンド

書名／ニューワイド学研の図鑑「爬虫類・両生類」
著者／鳥羽道久 福山欣司 草野保
出版社／Gakken



「お母さん、カナヘビって知ってる？ ヘビじゃないんだよ」「目がすごくかわいいんだよ！」学校から帰宅した次男が言い出した。図鑑で調べると…やっぱり、爬虫類。

「飼いたいな～飼いたいな～」の連日の攻撃で、ちゃんとお世話できるならと許可すると、早速両掌に包み込むようにして連れて帰ってきたのだった。ちっちゃい恐竜みたいで、カナヘビ・カナコ。ラプトルそっくり。でも本当にかわいいお顔をしている。生餌のコオロギをピンセットで与えたりするなんて、私は想像もしていなかった。



カナコが人工餌に慣れ、コオロギたちはカナコの頭の3倍の大きさになったので、彼らは悠々隠居生活を送ることになったが、リビングに同居人が増えるなんて想像もしなかったな。そして、ご隠居さんがやさしいBOXのターサイが大好きで白菜やキャベツの芯は食べないなどと、意外と好き嫌いするのも想像していなかったことだ。

(御殿山地区 丸山 貴)

生活と自治

■2023年2月号

オピニオン 誰のための教育か

映画「教育と愛国」に関心があったので監督の齊加尚代さんの記事を一気に読みました。

今、国が進もうとする方向の先にあることがとても不安でなりません。あらゆる面で本当に国民が平和で幸せに暮らすためになるのか？ 私たちは今、マスコミから流される報道に対して、もっと自分の考えをしっかりと持って判断しなければ、取り返しのつかないことになりはしないのか？

教科書の中身だけではなく、自分で考えるための「判断材料」が減らされていくような、教育界にはいけないと思いました。

(羽曳野地区 間部則子)

一人ひとりの購読料(100円)で成り立っています。

つばやき

4月に小学生になる息子は、2年ほど前から折り紙に夢中になり、今では取り組む作品の工程が100を越えることも珍しくありません。私自身も、息子に教えてもらいながら折り紙を楽しんでいます。

息子を通して知った折り紙の世界は、さながら一枚の紙という小宇宙だ。折って畳んで、時には沈めて、作品ごとに「うーん、すごい」と感嘆してしまう。息子との一生の趣味ができたようで、それも嬉しい。

私の一番のお気に入りには、折り紙作家川崎敏和さんの「巻き貝」。完成度の高さ、美しさはもちろんです、工程もとても楽しい。あんなにワクワクしたのは久しぶりだった。みなさんも是非。

(AI)



理事会報告

2月27日 大阪市中央公会堂

- エコロ委員会
居場所づくりプロジェクト立ち上げを決定
- 子育てひろばサポーター部会
東大阪市内の子育てひろば立ち上げを決定
- NONIGM委員会
GMナタネ自生調査活動「親子で検査&学習会」活動計画を決定
- 生活クラブ生協フェスタ実行委員会の立ち上げを決定
- サステイナブルフェス！ひまわりプロジェクト活動計画を決定
- 冬の共済キャンペーン計画 中間報告を確認